



令和7年11月10日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館 ニューズレター

No. 327 (2025年11-12月)

■【Library of the Year】表彰式報告

【[Library of the Year](#)】は、これからの図書館のあり方を示唆するような先進的な活動を行っている機関に対して、[NPO法人 知的資源イニシアティブ \(IRI\)](#) が毎年授与している賞である。前号でもお伝えしたが、当館は本年の「Library of the Yearライブラリアンシップ賞」に選出していただいた。その表彰式が、10月24日(金)パシフィコ横浜で開催されていた[図書館総合展のフォーラム](#)として行われた。本年の受賞活動は以下の通りである。

【Library of the Yearライブラリアンシップ賞】

[松竹大谷図書館](#)

[北摂アーカイブス](#)

【Library of the Year 2025 優秀賞】

[オーテピア高知図書館と高知県図書館振興計画の両輪での推進](#)(大賞受賞)

[新庄・最上地区の「地域まるごと学び場プラン」](#)

(オーディエンス賞受賞)

[全国文化財総覧](#)

[箕面市立船場図書館における大学図書館と市立図書館の一体的運営による社会連携の取組み](#)

表彰式のフォーラムでは、毎年「優秀賞」の活動関係者によるプレゼンテーションと審査員による討論会を経て、審査員による投票点数が一番高い「大賞」が「優秀賞」から選出される選考会が開催される。また会場来場者も一人1票で投票を行い、最も得票が多かった活動に対して「オーディエンス賞」が授与される。

本年は【[Library of the Year](#)】の20周年という記念の年にあたることから、フォーラムでは、まず過去の受賞活動の関係者によるコメント動画が上映された。前半の動画が終わったところで、それぞれの「優秀賞」の関係者によるプレゼンテーションが行われ、その後、図書館有識者5名の審査員による討論会が行われた。

本年の優秀賞は、4件のうち3件が公共図書館（公共施設）の活動であった。プレゼンテーションでは、「県・市一体型による公共図書館の振興」「市民発の団体による地域の文化施設・組織運営」「大学図書館を指定管理者にした市立図書館との一体的運営」と、それぞれ全く異なる運営体制でありながら、いずれも過疎化の問題を抱えた地方において図書館の基盤を固める努力を続け、様々な職業や年齢層の地域住民が必要とする「情報」をニーズに合わせて提供するバリエーション豊かな活動が伝えられた。

(次ページへ続く)



トロフィーと賞状

目次

【Library of the Year】表彰式報告	1-2	資料提供	5
「松竹創業130周年記念特別展示」&資料紹介&「『TOKYOタクシー』公開記念 山田洋次監督展 第九弾」開催中です	2	新たに資料をご寄贈くださった方々	5
当館デジタルアーカイブを活用した松竹創業百三十周年歌舞伎座チラシ	3	公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	6
「This is KABUKI 体験!『義経千本桜』が誘う歌舞伎の世界」に展示しました	4	松竹大谷図書館へのご来館に関しましてのお願い	6
新着資料案内	4-5	年末年始休館のお知らせ	6
		利用案内	6

(前ページより続く) また、全国の自治体等で発行されている埋蔵文化財発掘調査報告書の電子化とWeb公開を行っている全国文化財総覧のプレゼンテーションでは、発行や所在の確認すら困難な調査報告書の所在データをどのように一本化していったかという経緯とその苦勞が語られた。図書館の活動とは異なるが、資料へのアクセシビリティを向上させ利活用の可能性を大きく広げた点が評価され、今回の受賞となった。

休憩を挟んだ後半は、過去の受賞活動の動画の後半が上演されたのち、いよいよ表彰式となり、優秀賞に続いて、当館と北摂アーカイブスの2つのライブラリアンシップ賞の活動が表彰され、受賞に対するコメント発表が行われた。当館と共にライブラリアンシップ賞を受賞した北摂アーカイブスは、市民と行政の協働のもとに地域資料のデジタルアーカイブ化を進めた、市民参加型

アーカイブの先駆的事例として著名な活動である。敢えて「北摂」という表現を使って地域性を大事にしていることがコメントで伝えられた。

そして表彰式の最後には、オーディエンス賞と大賞の活動が発表され、喜びの中授賞式が行われた。

表彰後は、【Library of the Year】の20年を振り返り、その意義について語り合う記念トークが行われた。当館の活動は2016年と2017年にも候補として一次審査で名前が挙げられており、当時は受賞には至らなかったものの、その後も継続して活動していた事が今回の評価・受賞に繋がったとお言葉をいただいた。【Library of the Year】には「良い図書館を良いと言う」という標語がある。今回の受賞を励みに、当館は今後も資料の保存・公開に尽力し、良い図書館として次世代へと受け継がれていく存在であるよう、成長を続けたいと思う。

■「松竹創業130周年記念特別展示」&資料紹介&「『TOKYOタクシー』公開記念 山田洋次監督展 第九弾」開催中です

現在当館の閲覧室にて、今年最後の展示となる「松竹創業130周年記念特別展示」&資料紹介&「『TOKYOタクシー』公開記念 山田洋次監督展 第九弾」を開催中です。

本年11月22日に創業130周年を迎える、演劇、映画の興行会社である松竹株式会社は、白井松次郎、大谷竹次郎の双子の兄弟が創業した会社です。大谷竹次郎が京都の新京極阪井座の仕打(興行主)となった明治28(1895)年を創業の年としており、その歴史は歌舞伎の興行からはじまりました。130年もの長きにわたり、演劇・映画の両分野で第一線にたち、数多の名舞台、名作を送り出しています。

当館は、大谷竹次郎が創立した演劇・映画の専門図書館で、松竹の資料を多数所蔵しています。節目となる年を記念して、松竹の関連資料を展示しました。白井松次郎、大谷竹次郎の伝記、社史や直営の劇場史、蒲田・大船両撮影所の書籍、松竹の名匠小津安二郎、木下恵介、野村芳太郎や「男はつらいよ」シリーズの書籍など、多彩な資料をお手にとりご覧になれます。また、松竹百年記念行事の幕開きとして歌舞伎座にて催された「古式顔寄せ手打式」の資料を特別公開いたします。

そして、松竹を代表する映画監督、山田洋次監督の91作目となる最新作『TOKYOタクシー』の公開を記念して、『十五才 学校IV』から『こんにちは、母さん』まで2000年代以降の監督作の映画パンフレットを展示しています。松竹120周年記念映画として公開された『母と暮せば』のポスター展示も行います。

毎回ご好評いただいている資料紹介「今月の芝居から」は、月替わりで歌舞伎座などの興行の関連資料をご紹介します。

ぜひお気軽に当館へお立ち寄りくださいませ。



松竹創業者書籍 新版大谷竹次郎『白井松次郎伝』



山田洋次監督作映画パンフレット

開催期間：令和7(2025)年11/4-12/19
平日：10～17時(休館日：土日祝日・最終木曜日)
開催場所：(公財)松竹大谷図書館 閲覧室/入館無料

■当館デジタルアーカイブを活用した松竹創業百三十周年歌舞伎座チラシ

松竹創業百三十周年を記念した歌舞伎座チラシデザインには、当館デジタルアーカイブより、皆さまに親しまれた歌舞伎座筋書、絵本役割の表紙画像が使用されています。

10月のチラシは、昨年の「三大名作」上演速報チラシにも使用された、絵本役割の表紙を活用したデザインです。

「絵本役割」とは、現在の筋書（プログラム）のような木版刷の小冊子で、表紙には、その公演で上演する演目の外題が書かれています。今回の10月チラシでは、この絵本役割の地模様、鳳凰があしらわれています。明治時代には、この模様がデザインされた絵本役割が数多く発行されており、定番のデザインとなっていたようです。



令和7年10月歌舞伎座座チラシ



明治25年10月絵本役割

11月は、鳳凰と紅葉の色合いが秋らしいデザインです。



令和7年11月歌舞伎座座チラシ



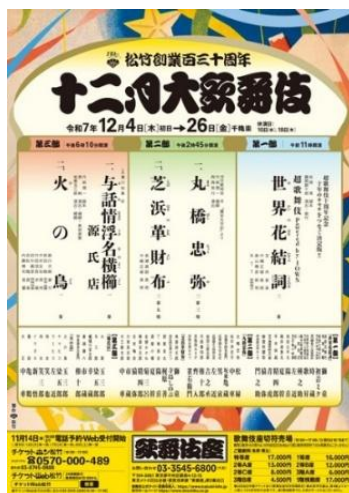
昭和15年11月歌舞伎座座筋書表紙

松竹創業130周年の掉尾を飾る12月チラシは、サンタクロースがかわいらしい、クリスマスイメージしたデザインとなっています。

本年は、このように一年を通してデジタルアーカイブが活用され、往年の歌舞伎座資料を基にチラシが作成されたことは、当館といたしましても大変光栄に存じます。

今後も、デジタルアーカイブの充実を図り、皆さまに役立つ図書館を目指して活動してまいります！

松竹大谷図書館ホームページ
デジタルアーカイブはこちら



令和7年12月歌舞伎座座チラシ



昭和15年11月歌舞伎座座筋書表紙

<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/digital-archive/>

■「This is KABUKI 体験！『義経千本桜』が誘う歌舞伎の世界」に展示提供しました

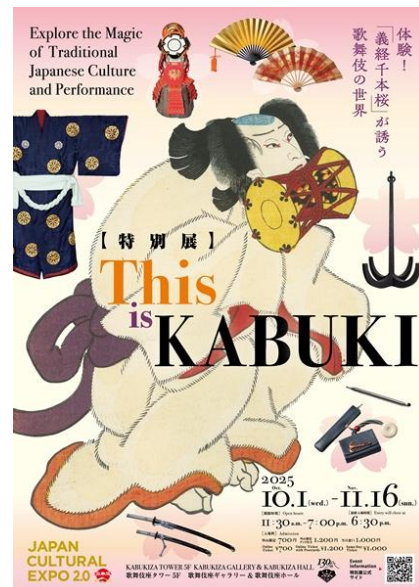
歌舞伎座タワー5階の歌舞伎座ギャラリー・歌舞伎座ホールで開催されている特別展「This is KABUKI 体験！『義経千本桜』が誘う歌舞伎の世界」に、松竹大谷図書館の所蔵資料が展示されています。戦後に復興した第四期歌舞伎座竣工記念の全景写真や、豪華版写真集「赤松雲嶺押限コレクション 昭和の隈取 歌舞伎名優の記録」などを提供しました。

10月から始まったこの展覧会は、歌舞伎座で10月に上演された『義経千本桜』をテーマに、多彩な歌舞伎の魅力をご紹介します体験型の企画展です。実際に舞台上で使われる衣裳や小道具、また大道具職人が作成した「吉野山」の舞台美術を間近に見られる機会もあり、撮影スポットもたくさん用意されています。ぜひお立ち寄りください。

2025年10月1日(水)～11月16日(日)11:30～19:00(最終入場18:30)

歌舞伎座ギャラリー・歌舞伎座ホール(歌舞伎座タワー5階)

<https://plan.shochiku.co.jp/thisiskabuki/>



新着資料案内 (ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系9月演劇公演資料◆		○ … 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『通し狂言 菅原伝授手習鑑』	○	○	○	○
新橋演舞場	『ANDO』			○	○
松竹座	『あの夏、君と出会えて 幻の甲子園で見た景色』	○		○	○
	『愚兄愚弟』	○			○
	『駕籠や捕物帳』	○			
南座	『流白浪燦星』	○		○	○
朝日ホール	『成瀬は天下を取りに行く』	○			○
永楽館	『寿曾我対面』	○			
	『お目見得 口上』				
	『神の鳥』	○			

◆松竹系10月演劇公演資料◆		○ … 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『通し狂言 義経千本桜』	○		○	○
新橋演舞場	『星列車で行こう』			○	○
松竹座	『大阪は踊る！』	○			○
	『ANDO』			○	○
	『星列車で行こう』			○	○
博多座 南座	『三升先代萩』	○			
	『二人藤娘』				
	『ご挨拶』			○	○
	『菅原伝授手習鑑 車引』	○			
	『荒事絵姿化粧鑑』	○			
御園座	『操り三番叟』				
	『芦屋道満大内鑑 葛の葉』	○			
	『京鹿子娘二人道成寺』	○			
	『新古今演劇十種の内 羽衣』	○		○	
	『八代目尾上菊五郎・六代目尾上菊之助 襲名披露 口上』				
	『鼠小僧次郎吉』	○			
立川 ステージ ガーデン	『ご挨拶・解説』				
	『連獅子』			○	
	『新説 小栗判官』	○			

◆他社演劇公演資料(7月-10月)◆ (順不同)ヨーロッパ企画『WHO CARES 大歳を王とし 三択クイズロワイヤル ザ・ステージ』シアタートップスプログラム/タカハ劇団『帰還の虹』座・高円寺1プログラム/劇団道学先生『水星とレトログラード』ザ・スズナリプログラム/中村京蔵青嵐の會『新版 山月記』喜多能楽堂プログラム/劇団温泉ドラゴン『まだおとずれてはいない』SPACE雑遊プログラム/ala Collection シリーズ『ハハキのアミュレット』吉祥寺シアタープログラム/T Factory『ロンリー・アイランド』ザ・スズナリプログラム/劇団俳優座『霧ぬけて』俳優座スタジオプログラム/いいへんじ『われわれなりのロマンティック』三鷹市芸術文化センター星のホールプログラム/東京にこにこちゃん『ドント・ルック・バック・イン・マイ・ボイス』三鷹市芸術文化センター星のホールプログラム/道産子男闘呼倶楽部『きのう下田のハーバーライトで』浅草九劇プログラム/赤堀雅秋プロデュース『震度3』本多劇場プログラム/かもめんたる×劇団かもめんたるライブ『でっかい部屋』浅草九劇プログラム/演劇集団円『風のやむとき』吉祥寺シアタープログラム/劇団papercraft『旧体』神奈川芸術劇場大スタジオプログラム/serial number『The Breath of Life』下北沢OFF・OFFシアタープログラム/コメディアス『紙を共に刷りぬ』

(他社演劇公演資料続き) 下北沢小劇場楽園プログラム/劇団さいおうば『はにわのにわはにわのにわ』インディペンデントシアター0jiプログラム/名取事務所公演『砂漠のノーマ・ジーン』下北沢「劇」小劇場プログラム/『ミュージカルジャージー・ボーイズ』シアタークリエイプログラム/『ミュージカルOnce』日生劇場プログラム/『第179回文楽公演』国立文楽劇場プログラム、床本/『第35回上方歌舞伎会』国立文楽劇場プログラム/文学座アトリエの会『野良豚Wild boar』文学座アトリエ台本/東京俳優市場season2『池袋レインボウズ』(次ページへ続く)

(他社演劇公演資料続き) 『Delivery Android』バルスタジオプログラム/グランワルツミュージカル『ミュージカルCurious George THE Golden Meatball おさるのジョージ』博品館劇場プログラム/Room NO. 925『ジャニス』博品館劇場プログラム/『ルネサンス音楽劇 ハムレット』新国立劇場小劇場プログラム/ASPイツフォアリーズ『ミュージカル洪水の前』地方巡業プログラム/結城座『タコボク 雲は旅のミチヅレ』ザムザ阿佐谷プログラム/朗読劇『アルセーヌ・ルパン#5奇巖城』日経ホールプログラム/『LES MISERABLES: WORLD TOUR SPECTACULAR』シアターオーブプログラム/『ARIA The CONCERT 2025 20年に1度の奇跡』パシフィコ横浜国立大ホールプログラム/OSK日本歌劇団『EXPO2025!! REVUE OSAKA』クールジャパンパーク大阪TTホールプログラム/OSK日本歌劇団『Revue Cruise(RC奏叶)』OSKレビューカフェinブルックリンパーラープログラム/OSK日本歌劇団『白藤麗華スペシャルライブ』OSKレビューカフェinブルックリンパーラープログラム/OSK日本歌劇団『登堂結斗スペシャルショー』OSKレビューカフェinブルックリンパーラープログラム/OSK日本歌劇団『第45回たけふレビュー』越前市文化センター大ホールプログラム/『国立劇場第337回歌舞伎公演』新国立劇場中劇場プログラム、台本

◆映画資料◆(順不同)『ベートーヴェン捏造』パンフレット、台本/『シネマ歌舞伎 源氏物語 六条御息所の巻』ポスター、パンフレット/『俺ではない炎上』パンフレット、台本/『ファンファーレ!ふたつの音』パンフレット/『劇場版 うたの☆プリンスさまっ♪ TABOO NIGHT XXXX』パンフレット/『小林さんちのメイドラゴン さみしがりの竜』ポスター、パンフレット/『ストロベリームーン 余命半年の恋』ポスター、パンフレット/『盤上の向日葵』パンフレット、台本

◆映画パンフレット◆(順不同)『ふつうの子ども』『リモノフ』『侵蝕』『海辺へ行く道』『風のマジム』『最後のピクニック』『ムガリッツ』『Dear Stranger/ディア・ストレンジャー』『劇場が終わるとき』『ワン・バトル・アフター・アナザー』『そうして私たちはプールに金魚を、』『8番出口』『遠い山なみの光』『ブラックバグ』『ブライアン・エプスタイン 世界最高のバンドを育てた男』

『レッド・ツェッペリン:ピカミン』『ベスト・キッド:レジェンズ』『ザ・ザ・コルダのフェニキア計画』『ひやくえむ。』『沈黙の艦隊 北極海大海戦』『ヒックとドラゴン』『ブラック・ショーマン』『チェンソーマン レゼ篇』『アズワン/AS ONE』『おーい、応為』『死霊館 最後の儀式』『フジコ・ヘミング 永遠の音色』『富士山と、コーヒーと、しあわせの数式』『映画 すみっこぐらし 空の王国とふたりのコ』『爆弾』『第三回 新・午前十時の映画祭』

◆演劇雑誌◆(順不同)『Confetti』2025年October, November/『DRAMA かながわ』93号, 94号/『JATET』No. 96/『JPL』No. 97/『KENSYO』Vol. 138/『SePT倶楽部 information』2025年4月号, 6月号, 8月号, 10月号/『the座』126号/『あぜくら』2025年9月号, 10月号/『えんぶ』2025年10月号/『ほうおう』2025年11月号, 12月号/『をどる』Vol. 15/『ステージぴあ』2025年7+8月号, 9+10月号/『テアトロ』2025年10月号, 11月号/『ミュージカル』2025年9月-10月号/『ラ・アルプ』2025年10月号, 11月号/『花もよ』79号, 80号/『喝采』2026年1月, 2月/『芸劇BUZZ』Vol. 50/『劇評』第42号, 第43号/『座・高円寺』No. 33/『大向う』令和7年9月号, 10月号/『日本照明家協会誌』2025年9月号, 10月号/『日本舞踊』77巻10月号, 11月号/『悲劇喜劇』2025年11月号

◆映画雑誌◆(順不同)『FLIX』2026年12月号/『NFAJニューズレター』2025年10月-12月号/『NFAJプログラム』No. 66, No. 67, No. 68/『SCREEN』2025年11月号, 12月号/『TVガイド』2025年9/5号, 9/12号, 9/19号, 9/26号, 10/3号, 10/10号, 10/17号, 10/24号, 10/31号, 11/7号/『おとなのデジタルTVナビ』2025年11月号, 12月号/『キネマ旬報』2025年10月号, 11月号, 増刊キネマ旬報NEXT Vol. 66, Vol. 67/『シナリオ』2025年11月号, 12月号/『シナリオ教室』2025年10月号, 11月号/『ドラマ』2025年10月号, 11月号/『ピクトアップ』2025年12月号/『ムービー・スター』2025年11月号/『ロケーションジャパン』2025年10月号/『映画テレビ技術』2025年10月号, 11月号/『映画時報』2025年8月号, 9月号/『映画秘宝』2025年11月号, 12月号/『月刊トドロキ・ユキコ』46号/『黒澤明研究会誌』49号/『日経エンタテインメント!』2025年10月号, 11月号/『文化通信ジャーナル』2025年10月号, 11月号

資料提供 (2025年9~10月)

※許可を得た方のみ掲載しております

[展示]2025年10月1日~11月16日歌舞伎座ギャラリー・歌舞伎座ホール 特別展「This is KABUKI体験!『義経千本桜』が誘う歌舞伎の世界」に『昭和の限取 歌舞伎名優の記録』『歌舞伎座竣工記念』『歌舞伎 衣裳と扮装』『かつら』を提供

[出版]ジェームズ・R・ブランドン著/小田中章浩・岩井眞實訳『歌舞伎の戦争 十五年戦争とその影』2025年10月20日名古屋大学出版会 GHQ検閲台本『お夏狂乱』『奥州安達原』と演劇スチール『軍国民』を提供

[その他]歌舞伎座「松竹創業百三十周年 錦秋十月大歌舞伎」本チラシ・歌舞伎美人等に明治24年1月歌舞伎座絵本役割を提供/歌舞伎座「松竹創業百三十周年 吉例顔見世大歌舞伎」仮チラシ・本チラシ・歌舞伎美人等に昭和15年11月歌舞伎座筋書を提供/歌舞伎座「松竹創業百三十周年 十二月大歌舞伎」仮チラシ・歌舞伎美人等に昭和10年12月歌舞伎座筋書を提供

新たに資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2025年9月まで)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、シナリオ・センター、東京都江戸東京博物館、株式会社日本舞踊社、協同組合日本シナリオ作家協会、文学座、シアタークリエ、劇団青年座、劇団民藝、若林さだ吉、公益社団法人日本演劇興行協会、銀座 博品館劇場、国立劇場、中村京蔵、協同組合 日本映画撮影監督協会、公益社団法人日本照明家協会、有限会社合同通信社、神戸女子大学古典芸能研究センター、キネマ旬報社、劇団俳優座、国立映画アーカイブ、東宝株式会社ライツ事業部、日本映画テレビプロデューサー協会、福田曜子、銀座百店会、(株)近代映画社、おとなのデジタルTVナビ編集部、一般社団法人関西常磐津協会、公益社団法人日本劇団協議会、樽松大剛、大瀧理恵、こまつ座、丸善雄松堂株式会社、井上理恵、山口博哉、特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、劇団銅鑼、映画パンフは宇宙だ!、株式会社セクターエイティエイトKENSYO編集部、ミュージカルカンパニー イッツフォアリーズ、明治座

どうもありがとうございました

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和7[2025]年10-11月にご支援いただきました

法人・団体(50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

個人(敬称略)

宮内和行

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館へのご来館に關しましてのお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話でのご確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認ください。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

《現在のご利用について》

●開館時間 10:00～17:00 ※ご予約なしでご利用いただけます

●閲覧予約サービス

閲覧席及び閲覧資料の事前予約ができますので、ぜひご利用ください。

松竹大谷図書館 03(5550)1694(平日10時～17時)

●手指消毒用のアルコールをご用意しております。

《ご予約について》

★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でご利用いただけます。

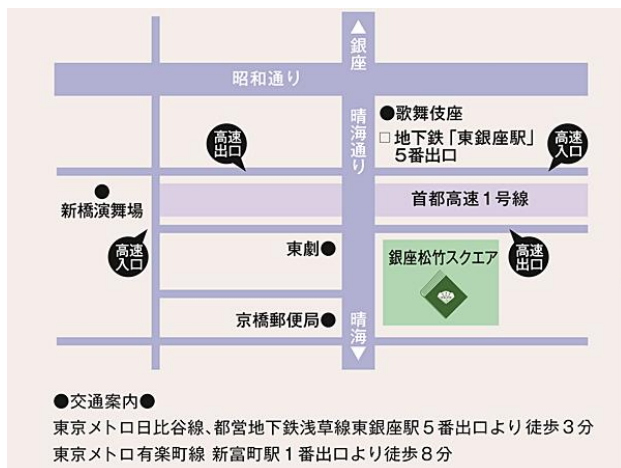
★お名前、人数、ご希望日時(○月○日○時より○時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせください。

★資料は予約優先になりますので、ご利用いただけない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://lib-shochiku-otani.libraryexpert.net/qf/>

詳しいご利用方法はこちら：https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/current_usage_20240701/

年末年始休館のお知らせ
令和7年12月20日
～令和8年1月12日



●利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ

[入館料]無料/[コピーサービス(2025年9月1日改定)]白黒1枚 50円、カラー1枚 100円 コピーサイズ:B5、A4、B4、A3 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担)但し、コピー不可の資料もあります

●資料検索●<https://lib-shochiku-otani.libraryexpert.net/qf/>

●交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階

TEL:03-5550-1694

公式HP <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

公式HP



公式Facebook



公式Instagram



公式X

